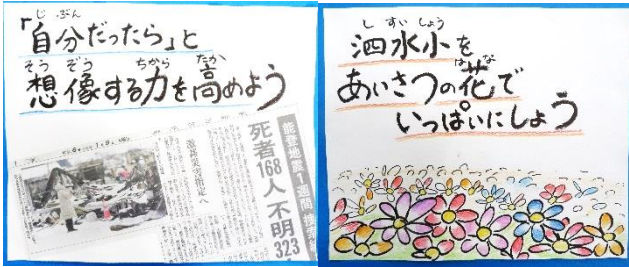




「想像する力」と「あいさつの花」

～スタート集会で子どもたちに話したこと～

皆様、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。後期後半のスタート集会で話した内容を紹介させていただきます。



【スタート集会で子どもたちに話した内容】

いよいよ2024年、令和6年が始まりました。この1年の目標は決めましたか。1年後の姿を思い描き、自分が決めたことに挑戦してください。そして、友達や周りの人の挑戦を応援する人にもなってください。

これから2つの事をお話しします。

1つ目は、『自分だったら』と想像する力を高めようということです。1月1日、元日に石川県の能登半島で大きな地震が起こりました。大勢の人が命を奪われたり、家族や家を失ったりされました。一瞬にして「当たり前」だった日常が変わることがあります。熊本でも今から約8年前に熊本地震を経験し、日本中から、そして世界の多くの国からたくさんの支援や応援をいただきました。今、私たちに必要なことは「自分だったら」と想像する力です。「関係ない」「知らない」と無関心にならないことです。もしも、自分がその場にいたら・・・と想像することで判断力が付きます。また、被災した方々は、今、寒さの中で、寝る場所や水も不自由な中、どんな気持ちで過ごされているのかと想像することで、私たちに何ができるのかを考えることができます。相手の気持ちを考え、優しい行動、勇気ある行動ができます。誰かのために頑張れる自分を目指しましょう。

2つ目は、冬休み前にもお話したように「泗水小をあいさつの花でいっぱいしよう」ということです。皆さんの中には、立ち止まっていたあいさつや、先取りあいさつができる、素敵な人がたくさんいます。是非、各クラスや学年、児童会でも考えて、あいさつの花を広げてほしいと思います。あなたたちのあいさつには、周りの人を元気づけたり、優しい気持ちにさせたりする大きな力があります。学校内だけでなく、登校中にお会いする方々、寒い中立ってくださる交通

➤ 指導員さんや止まってくれた車の運転手の方にも、感謝の気持ちを込めてあいさつやお辞儀ができる人になれたらいいですね。人の心を元気にする自分を目指しましょう。

今日は2つの事をお話しました。後期後半の3ヶ月間、泗水小学校みんなで、心を通わせて過ごしていきましょう。

初日の子どもたち姿から

～冬休み明け1月9日(火)の様子～

遊

学校に歓声が上がってきました。右の写真は、2時間目後の休み時間に一斉になかよし広場に出て思い思いに遊ぶ1年生です。友達と笑いながら、思いっきり体を動かす。「遊び」の大切さを感じました。



学

冬休みの宿題を提出した後、早速「力試し」をしている学年もありました。右の写真は、「漢字大会」に挑戦していた3年生です。早々と終了した子、頭を抱えて思い出している子など様々ですが、自分のペースで一步一步、学び続けてほしいと願います。



心

静かな心で書に打ち込む姿。右の写真は、「感謝」という字を習字で書いている6年生の姿です。あと3ヶ月(実質は約2か月)で卒業式を迎える6年生。真剣な空気が各教室に広がっていました。



「知ることの大切さ」

～話すこと、歩くこと、読むこと～

「おばあちゃん家に行ってきました」「お年玉をもらいました」など、子どもたちとの会話で、その子の冬休みの様子や思いが感じられます。

私自身は、この冬休み、地区のもぐら打ちやどんどやに携わらせていただき、久しぶりに地区を歩き回り色々な方と話す機会を得ました。

そして今回、ニュースや新聞記事を通して、能登半島地震で亡くなられた方や被災された方の状況や思いを知り、「命」や「日常の土台」について考えさせられています。

「人・旅・本」という言葉もあります。人と話し、歩き、本や新聞を通して「知ることの大切さ」を噛みしめる新年となりました。